



はじめに

「Films pour enfants」協会が提供する短編映画は教育ツールです。映画を鑑賞する前と鑑賞する前に、大人の同伴が望ましいです。事前に子供に提示するだけでなく、鑑賞後にフィードバックを提供することもできます。彼の気持ち、質問、反応について。



選択グリッド

選択グリッドは、「Films pour enfants」協会が以下の理由により特定の映画が適さない年齢を決定するために使用する基準を示しています。子供の発達やバランスを損なう可能性のある要素。このグリッドにより、各大人が映画を上映するかどうかを決定することもできます。

観客の年齢	0-3	3-6	6-9	9-12	12-16	16-18
視聴時間						
短編映画 (20分未満)						
中編映画 (20分以上)						
長編映画 (60分以上)			(1)			
字幕						
オリジナルバージョンの字幕付きVOST				(2)		
テーマ						
いくつかのテーマ			(3)			
複雑なテーマ				(4)		
メッセージ						
複雑なメッセージ				(4)		
誤解を招くメッセージ (5)						
ステージング						
複雑なステージングおよび/または編集 (6)						
ノンリニアナレーション (7)						
キャラクター						
複雑な役割および/または心理学 (8)						
ビジュアルユニバースと美学						
適応されていない視覚宇宙 (9)						
サウンドユニバース						
暴力的で不穏な催眠世界 (10)						
恐怖						
一般的な内容 (11)						
直接的または予測不可能な表現 (12)						
不安						
一般的な内容 (13)						
暴力						
リアルな表現 (14)						
非現実的な表現 (15)						
暴力は目に見えないが示唆されている (16)						
ヌード						
人間または擬人化されたキャラクター						
人間以外のキャラクター						
武器						
現実から遠ざかる兵器						
リアルな武器						
アダルトシーン						
セクシュアリティ						
死 (18)						(17)
薬物/アルコール						
ギャング						
差別 (19)						
下品さ						
下品なシーン (20)						

注意事項

- 一般的に、12歳までに20分を超える視聴時間は禁止されません。推奨。長時間見すぎると、お子様は理解が困難になる可能性があります。彼の注意力は薄れてしまうだろう。したがって、長編映画を視聴する場合はサポートをお勧めします。
- ストーリーを理解するために会話をよく理解する必要がある場合は、VOSTを使用しません。子供の不安。
- 映画が複数のテーマを繰り返して扱っていないことや、複数の「許容される」程度を考慮していないことはまれです。メインテーマがどれだけ明確で明白であるかによって決まります。
- 複雑さは程度は、理解する必要がある子供の理解レベルに応じて異なります。メッセージの性質と意味。大人と一緒に映画を鑑賞してください。
- 歴史的な事実を否定するようなメッセージ等。誤解を招くメッセージはすべて、批判的な分析の時間を伴い、大人の監督の下で閲覧してください。
- フラッシュバック、トーン、時空、視点の変更。複雑な編集またはリズム急速(さまざまなシーンの連続、1分あたりの多数のショット、設定または時空)多様すぎる...、突然または予測できない音や映像の中断。
- 時系列に沿っていない一連の出来事により、歴史の理解が混乱し、メッセージ。
- 登場人物の役割や心理は、展開と一致していなければなりません。子供の心理。たとえば、映画の登場人物の両親の行動の理解できない変化。それは9歳の子供の心理的発達と一致していません。
- 暴力的、苦痛の、または催眠的であるため、視覚的世界が適応されていない。
- 音楽や効果音は暴力的、不穏、催眠的であるため不適切です。音切れ突然の、または予測不可能な。
- テーマ、ストーリー、キャラクター、演出、映像世界、音世界...
- 直接的または予測不可能な方法での恐怖の表現。(ユーモアやファンタジーによって距離を置くことなく...)
- 中学生以前には悲惨な映像コンテンツがないこと。
- 正当な理由のない、特にその性質による身体的または精神的暴力。審判、未成年者の感受性を乱し、好意的な観点から、または反対の立場から暴力を提示すること矮小化する。
- 非現実的な表現、キャラクターの「漫画風」の外観、外観から遠ざかる人間的誇張された反応。登場人物たちの反応が鈍い。痛み、苦しみ。
- 暴力的な状況(人間が住んでいる場所への攻撃...)
- ストーリー展開と美的影響のために使用される、明示的ではないセクシュアリティ。
- 死が主要テーマ、または非常に現代的なテーマであること。暴力的な死の演出。
- 差別的なメッセージが含まれる映画、または差別を助長する映画。これは、子供たちに考えさせるために差別を描いた映画には当てはまりません。この主題について批判的に考察し、議論すること。すべての差別的なメッセージは次のとおりであることに注意してください。批判的な分析の時間を伴い、大人の監督の下で閲覧してください。
- 下品さの表現は人によって異なりますが、それは次のレベルで考慮される必要があります。言語(音声、ジェスチャー、グラフィックスなど)だけでなく、一般的な行動レベルやさらには考え方。

閲覧のヒント

視聴アドバイスは、子どもたちの知的、感覚、感情的、人間関係の発達に沿ったテーマの提案です。

3歳は、色、形、グラフィック、カラー、カットの始まりを初めて学ぶ年齢ですが、昨日、今日、明日、季節、週など、時間内での最初の基準となる年齢でもあります。感情や芸術的ツールを学ぶには恵まれた時代です。

別居(親、保育園、毛布など) / 魔法的思考 / 象徴主義 / 愛着 / 心の理論(4年)
日常生活における自主性 / 食べ物(果物、野菜など) / 音楽 / ビジュアルアート

6歳は、言葉の言語、構築された談話、時空、空想と現実の区別を探求する年齢です。子供は学習、書くこと、読むこと、数学の大切さに気づきますが、生徒の姿勢の重要性も。また、学問の自主性、スポーツや文化の発見(スポーツ、芸術、音楽などの練習の開始)、宿題の開始の時代でもあります。
共感 / 兄弟間の立場 / 障害 / 詩 / 文化的テーマ / 尊敬と寛容 / 相互扶助 / エコロジー

9年間、視点、時空、画面上/画面外、リズム、感情や感覚の表現だけでなく、芸術的な言語(言葉は回遊または再導入する)も特に重要です。
死 / 正義の大切さ / 強い友情 / 退屈 / 離婚 / 競争の課題 / 平等と差別

12歳になると、子供は親から距離を置き始め、行動が自立し、一人で学校に行き、一人で家に帰ります。それはまた、最初の浮気の年齢でもあります。デジタルへの投資が重要になってきています。
恋愛 / 思春期 / 性欲 / 嫉妬 / 病気

16歳は初めて責任を負う年齢です。家族との距離は遠くなり、友達の大切さが増します。初めての時代でもあります。
政治・社会科目 / 哲学 / 自治 / 暴力

文書は3-6-9-12協会と協力し、セルジュティスロン、フローレガタリ ミッション、オリヴィエ デュリス、ソニア ウィンターの参加により作成されました。